

杉戸町国際交流協会だより

すぎとっち

Vol. 26

2018/11/1

杉戸町国際交流協会

SUGITO INTERNATIONAL ASSOCIATION

バスセルトン杉戸姉妹都市協会(BASSCA)が外務大臣表彰を受賞

2016年に杉戸町と姉妹都市提携20周年を迎えた西オーストラリア州・バスセルトン市の姉妹都市協会(以下BASSCA)が、平成29年度外務大臣表彰を受賞しました。

平成29年8月7日(月)にバスセルトン市で行われた表彰式では、グラント・ヘンリー市長、カレン・ジョンソンBASSCA副会長、平山達夫在パース総領事、杉戸町の学生、過去の受入家庭の家族らが出席しました。

ホームステイによる学生交流、住民団の相互訪問をはじめとし、教員・職員等の人的交流、文化・芸術交流等、多様な活動を企画・実施し、20年以上にわたる活動が、西豪州の姉妹都市関係の中でも極めて活動的であり、日豪間の相互理解・友好関係への貢献が評価され、今回の受賞に至りました。

受賞したジョンソン副会長は「この外務大臣表彰は極めて光栄であり、深く感謝する。この1年は姉妹都市交流20周年として市町長の相互訪問、日本関連展示会の開催、学生交流など、色々な活動を行ってきたが、今後も杉戸町との交流を継続していきたい。」と感謝の意を述べました。



在日オーストラリア大使館を表敬訪問

昨年、BASSCAが、これまでの20年間の取組をまとめた姉妹都市提携20周年記念誌「Bridge of Friendship」を発行しました。これを受け、BASSCA会長ポーリン・ヴァケリック氏、西オーストラリア州政府駐日代表クレイグ・ピーコック氏と共に、在日オーストラリア大使リチャード・コート氏を表敬訪問しました。

大使からは、「20年に渡る姉妹都市交流は、両国の友好関係の一助となっている。これからも、学生の交流も含め継続してほしい。」と賛辞の言葉を頂きました。



ボトルブラッシュ料理教室

姉妹都市委員会では、昨年度2回ボトルブラッシュ料理教室を行いました。シュークリームは上手く膨れ、おいしそうにできました。また、みなさん主婦の方々ですので、手際の良さが素晴らしいです。予定時間よりも早く出来上がるところがほとんどでとても頼もしいです。これからもホームステイの際のおもてなし料理を学ぶ場として多くの方々のご参加をいただけますようお願いしております。

姉妹都市委員会 田沼 統子



姉妹都市交流研修会「英語でコミュニケーションを取ろう！」

日本工業大学勤務のチンバ フレデリック先生を講師に招き、11月9日と16日の2回実施しました。

授業はスライドを使い、自分の国の紹介や、奥さんとのオーストラリアでの出会いなどの自己紹介をし、私たちも自己紹介をしました。その後、週末の予定や、趣味の話、先生への質問などもしました。先生はとてもユー

モアのある方で、授業は2時間でしたが、あっという間に終わりました。

講師の出身地のザンビアには、落差108m、滝幅1,708mの世界でも有名なビクトリアの滝がジンバブエとの国境にあります。それは杉戸町役場から日本工業大学までの距離になることでも驚きました。

3月の異文化交流会には、忙しい中参加いただき、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。「英語で…」は私たちの初めての試みでしたが、こんなにも国際交流の輪が広がったことが実感でき、うれしく思いました。



姉妹都市委員会 及川 久子

姉妹都市バセルトンを訪問して

※平成29年度は行政視察等が目的の為、少人数で実施されました。

すき通った青い海と白い砂浜、ユーカリの香り、かわいい動物たち、姉妹都市バセルトンは夏の顔で私たちを迎えてくれました。今回の訪問では、パースでの日本総領事館での夕食会は大変貴重な体験でした。バセルトンジェティースイムと海岸開発エリアの視察では、バセルトン市がどんどん発展していく様子を見ることができました。景色も素晴らしいのですが、私にとって一番心に残るものは、人との交流です。訪問中に多くの方々にお会いしてお話をするのができ大変うれしく思っています。シニアの方々がとても元気に意欲的に活動されていたのも印象的でした。今回の訪問の計画、担当をしてくださったすべての方々に大変感謝しています。



姉妹都市委員会 村上 治美

第1回国際協力・理解講座「アラブの王様も愛したウッドコンサート」

平成29年9月30日(日)、第1回国際協力・理解講座として「アラブの王様も愛したウッドコンサート」を開催しました。受付前から開場を待つ人がどんどん増えて長蛇の列ができたくらいの大盛況で、180人の参加がありました。アラブの音楽に興味がある人、ベリーダンスなど舞踊に興味のある人等幅広く参加して頂けました。遠方よりわざわざいらした方も何人もいらっしゃいました。

演奏はウッド演奏家の第一人者、国内外で演奏活動、大使館での演奏もして活躍されている常味裕司氏でした。ウッドの楽器は日本の琵琶の起源と言われています。常味氏は、楽器について、200ほども音階があるというアラブの音楽について、中東の国々についてのお話を時にユーモラスに分かり易く話しながら、1時間ほどの演奏をされました。その後、ウッドだけでなく、笛や打楽器に触れる機会もありました。最後にはご本人はサインと写真攻めにあっていました。



参加者のアンケートでも最高の評価を頂きました。無料とは驚きという意見が多かったです。今後とも、このような上質の講座を企画していきたいと思っておりますので、ぜひご参加下さい。常味氏ご紹介のチェニジア大使館訪問も実現させたいと思っています。

国際化推進委員会 嶋津 桂子

第2回国際協力・理解講座「日本赤十字社とANA機体工場見学」

平成29年12月7日(木)の7:30にカルスタすぎとを出発。渋滞も無く日本赤十字社に到着。ガイドさんの案内で特別会議室や貴賓室、著名な芸術家から寄贈された美術品を拝見しました。救護倉庫や史料展示コーナーでは、実際の救援物資を見たり、震災での体験を伺いました。

次に、第一ホテルのランチバイキング。どのお料理も美味しく大満足でした。



最後に ANA 機体工場見学へ。広大な格納庫では整備中の飛行機や取り付け前の新しいエンジンを見学。マイナス 50℃でも曇らないガラスや 300℃に耐えるタイヤなどの部品すべてが完璧に揃った機体を維持することの大変さが伝わりました。

国際化推進委員会 小野寺 小百合

第3回国際協力・理解講座 ～ ロシアについて学ぼう ～

平成 30 年 2 月 17 日（土）杉戸町立西公民館において埼玉県国際交流協会から本田タチアナさんをお招きして国際協力・理解講座を開催しました。本田さんは“2018 FIFA ワールドカップ”の日本対ポーランド戦の会場となったロシア南部・ヴォルゴグラードの出身。大宮でロシア家庭料理レストランを経営しながら、小中高校や地域社会の様々な事業の講師として活躍中です。

講座の前半はロシアの暮らしや文化等の紹介。世界最大の面積を持つロシアは気候が最高 40 度以上からマイナス 40 度で広大な国土と人々の多様な暮らし方等、日本とロシアとの違いなど興味深い紹介でありました。さらに、木のスプーン楽器体験、ロシア人形の「マトリョーシカ」の構造の面白さ、鮮やかな民族衣装の試着体験等も楽しみました。

後半は本田さんの手づくりロシア菓子やジャム、紅茶で茶話会を行いました。最後にロシア民謡「カチューシャ」の曲に合わせて皆が輪になり踊り、近くて遠いロシアを身近に感じる講座でした。

国際化推進委員会 篠原 千代子



異文化交流パーティー

今年も年度末に恒例となっている異文化交流パーティーが平成 30 年 3 月 17 日（土）に開催されました。好天に恵まれ参加者もスタッフを含め約 80 名が西公民館多目的ホールに集まりました。

外国人と日本人の交流が目的のティパーティーという催しではありませんがネパール・インド・インドネシア・イタリア・ロシア他、多くの国の料理が並べられ会場の方々の目と胃袋を楽しませてくれました。

演目としてインドネシアの参加者による歌。初めてのベリーダンスと会場が少し興奮の中ビンゴ大会が行われ、それぞれに賞品をもらって終わりました。

最後はいつもご協力いただいています花柳流の小林秀京さんの日舞のあと社中の皆様のご指導で参加者全員が輪になって踊って今年もお開きになりました。皆様ご協力ありがとうございました。

国際化推進委員会 渡辺 真理子



杉戸町平和企画展「東京大空襲～奪われた尊い命～」

平成 29 年 8 月 16 日（水）から 8 月 20 日（日）の間、「カルタスすぎと」において平成 29 年度杉戸町平和企画展が杉戸町主催、杉戸町国際交流協会共催で開催されました。

今年の杉戸町平和企画展は、太平洋戦争（大東亜戦争）における 1945 年（昭和 20 年）3 月 10 日に東京で起きた大規模空襲「東京大空襲」に焦点を当て、オープンギャラリーにおいて東京大空襲の写真・説明パネル・体験者の絵などの展示、最終日の 20 日は多目的ホールにおいて埼玉県在住の空襲体験者藤間宏夫氏による講演会が行われました。

講演会においては、多数の傍聴者に参加頂き藤間氏の映像を活用した大空襲時の被害・生活状況等のお話を熱心に聞いていました。



終戦から70年余が過ぎた日本では、いまだに戦争の傷跡が残っています。そして現在でも紛争が行われている国が多く存在しているなかで、私たちは戦争被害・影響を改めて考えるとともに悲惨な状況を後世に伝承し、戦争の無い世界を目指す気持ちを育てることが大切だと思わせる企画展でした。

最後に、講演会の進行に際し、昌平高等学校の生徒の皆様にご多大なご協力を頂いたことに感謝いたします。

国際化推進委員会 岡田 克己

杉戸町日本語教室

日本語教室は、毎週水曜日の午前中（10:00～12:00）と夜（19:00～21:00）に開講しています。

日本語が全くできない方には「ひらがな」の学習から始め、その後、日常生活に困らないように「簡単な日本語」を学習します。それらを学習した後、ポピュラーな日本語テキスト「みんなの日本語」を使用して学習します。この「みんなの日本語」が終わる頃には、ある程度の日本語会話が出来るようになります。

その後の学習は、学習者の希望により「みんなの日本語中級」「新聞で学ぶ日本語」「日本語検定問題集」などを使い学習します。

行事としては、「生徒さんの母国の料理を学ぶ」があります。生徒さんは自分の国を日本人に知ってもらいたい良い機会になり、スタッフは珍しい外国料理を味わう良い機会になっています。

日本語教室 瀧田 正博



杉戸町産業祭に参加しました

平成29年11月3日（祝）、今回もアグリパークゆめすぎとで行われた産業祭に「スタンプラリー」と「バルーンアート」で参加し、広報・会員募集活動を行いました。



平成29年度会員紹介

団体会員（6）

埼玉県立杉戸高等学校 埼玉県立杉戸農業高等学校 杉戸町体育協会
杉の子吹奏楽団 杉戸ロータリークラブ 杉戸麵打愛好会 小川道場

法人会員（21）

(有)アグリパークゆめすぎと (株)和泉屋 (株)栗原建設工業 (株)斉田石油店
学校法人志学会学院志学会高等学校 学校法人昌平学園昌平中学・高等学校
学校法人藤田学園杉戸白百合幼稚園 (有)杉戸クリーンサービス 青翔運輸(株) (有)武井鶏園
太平ビル管理(株) (株)大三 中央プリント(株) 東武観光(株) 杉戸営業所 (有)浜名造園
(株)ハマナアーキテクツ NPO 法人フタバ 双葉保育園 細井自動車(株) (株)矢島商店
社会福祉法人椿寿会 良宝園 (株)渡勝

編集後記

今年度分の「すぎとっち」につきましては発行が遅れてしまい、会員の皆様、記事を書いてくださいました皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。来年度からは体制を変え、新たな広報活動に力を入れていきたいと思っておりますので、引き続き当協会のご支援をお願いいたします。

杉戸町国際交流協会事務局

埼玉県北葛飾郡杉戸町清地2丁目9番29号（杉戸町住民協働課内）

直通電話・ファックス 0480 (36) 1470 E-mail sugito.int@gmail.com